

R NISSAY IT Report



3. 当社での認知症対策ソリューション

2018年度、こうした研究と実証実験を経て高齢者からのニーズに応えるべく、認知症対策ソリューションとして脳トレシステムを提供しています。

【Amazon Alexa向け脳トレシステム開発】（日本生命保険相互会社向け開発）

これまでの認知症対策ソリューションのノウハウを活用し、日本生命保険相互会社向けにAIスピーカ「Amazon Echo」上で動く脳トレアプリ「ニッセイ脳トレ」を開発いたしました。2018年3月にAlexaスキルをリリースし、約1万ユーザーにご利用いただいています。

（機能の特徴）

- Amazon Echo に話しかけるだけで一回3分程度の脳トレクイズが楽しめます
- 聴覚をベースに行う脳トレアプリ
 - 文章問題 : まず文章を覚えてもらい、その文章の関連クイズに答えてもらいます
 - 単語問題 : さまざまなカテゴリの単語を覚えてもらい、その単語を使ったクイズに答えてもらいます
 - 音楽問題 : Alexa が再生する「音」に関連したクイズに答えてもらいます
 - 虫の鳴き声問題 : さまざまな虫の鳴き声に関するクイズに答えてもらいます



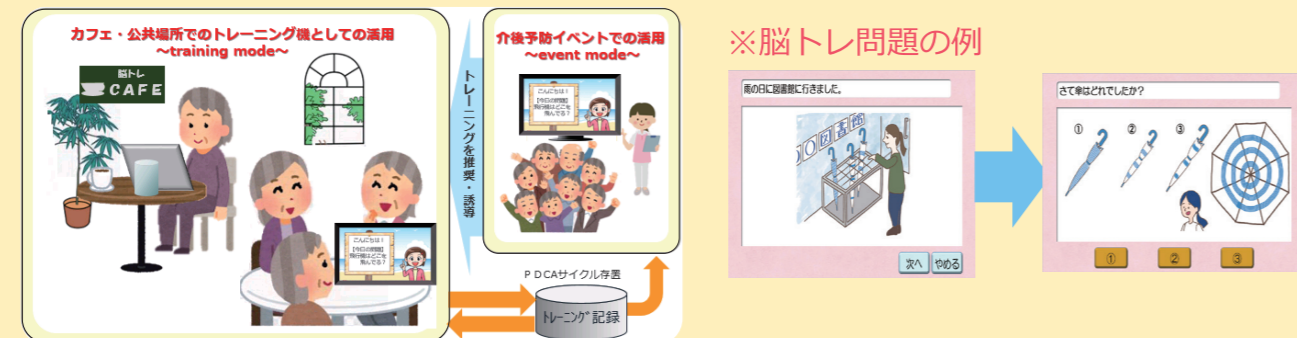
【脳トレ製品：「暮らしの脳トレ」】

（機能の特徴）

- 700種類以上の豊富な脳トレ問題が日替わりで出題
 - 認知症になると苦手になる日常生活課題を扱った出題
 - ・探し物をする・約束を覚える・迷子にならない・交通安全
 - 幅広い脳の機能を総合的にトレーニングできる
 - ①短期記憶 ②視空間認識 ③注意力 ④推論力
- この単位でデータ蓄積され評価とチアアップする仕組み（活用シーン）
- 有料老人ホームやデイサービス、自治体に提供



タブレット端末で動きます



当システムは、2018年度の厚労省「老人保健健康増進等事業」に採択されました！

【お問い合わせ先】ヘルスケア営業本部
TEL:03-5714-2310 E-mail:prevent@nissay-it.co.jp

ニッセイ情報テクノロジー株式会社

〒144-8721 東京都大田区蒲田5丁目37番1号 ニッセイアロマスクエア TEL: (03) 5714-4624 FAX: (03) 5713-0178

<https://www.nissay-it.co.jp>

※本文中に掲載されている商品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。
All Rights reserved, Copyright ©2019 Nissay Information Technology Co., Ltd.

（本誌記事の無断転載・コピーを禁じます）
2019.03 NIT2018-135 (経011) 2



ニッセイ情報テクノロジー株式会社

1. 認知症をめぐる動向と研究動機

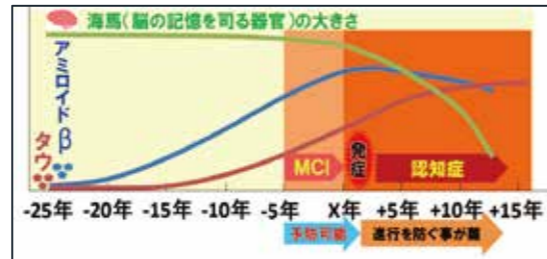
世界に類を見ないわが国の高齢化を背景に認知症患者も予備軍含めて1000万人に達し、国民的課題となっています。認知症は発症の25年前より徐々に進行し、認知症の前段階MCI(Mild Cognitive Impairment)を経て発症します。発症すると治療が非常に難しいと言われています。

しかし医療関係者からはよく、自ら気づいて病院に来られる方の殆どは発症後である事が多く、早期発見と早期予防が極めて重要とお聞きします。行政もこの事に鑑み、各自治体に「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期発見と対処に注力する体制の構築に着手し始めています。

一方で昨今、認知症チェック手段は出てきたものの、予兆懸念のある方が、日常的に予防に取り組む手段は一般に普及を見ていません。

そこで当社では認知症のチェックから具体的な取組手段、アドバイス迄の予防のPDCAサイクルを回す仕組みの研究を開始しました。

認知症の第一人者である東京医科歯科大学特任教授の朝田隆先生に監修いただき、高齢者が日常的に予防する為にすべき事、一般の方ができるチェック、ITの役割等につきご相談と議論を重ねました。



朝田 隆 先生
(あさだ たかし)
医師医療法人社団
創知会理事長
(メモリークリニック
お茶の水・取手)
東京医科歯科大学特任教授 筑波大学名誉教授 35年以上、認知症の研究・臨床に携わっており日本における認知症の権威。

2. これまでの研究開発取り組み

①家族が遠方に住む高齢者を見守る支援(構想検討)

2016年度よりまず都市に勤めるビジネスパーソンが遠方に住む高齢親の認知症の予兆を検知する見守りサービスの構想を検討しました。

多くのビジネスパーソンは地方に高齢親を抱えており不安を持っているとの想定の下、遠方より高齢親を適宜見守るシステムとしてテレビ電話等を取り上げ、高齢親を見守るポイントを整理し、プロトタイプを開発しました。

- ・家族が高齢親を見守る為の講座動画
- ・高齢親の認知症予兆チェックリスト



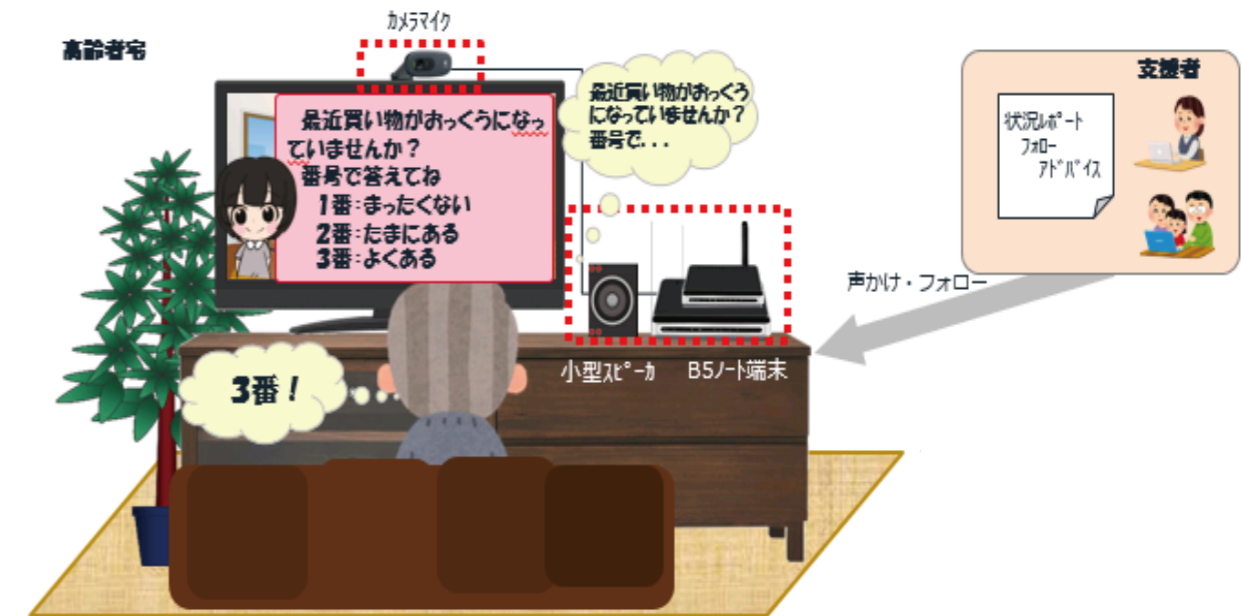
遠隔高齢親TV電話見守りのイメージ



家族向け認知症見守り講座動画(全8本)

②認知症プログラムのお茶の間配信

2017年度には前年の認知症予兆チェックリスト等をベースに、認知症を中心とした介護対策コンテンツを産学協同の下で作成し、130種類のトレーニングを高齢者のお茶の間に配信する実証実験を有料老人ホームの元気な高齢者2名様のご協力を得て2ヶ月間実施しました。



毎日20分間、オーダーメイドでプログラムを組み合わせてテレビから配信しました。例えば認知症が心配される方には、脳トレやデュアルタスク運動(頭と体を同時に働かせるエクセサイズ)を配信しました。

また状況に応じ健康問診を実施し、日々の状況をフォローしました。プログラムの実施は音声認識を使い、高齢者はテレビに向かって発話するだけで行えるようにしました。



この結果、トレーニングは8割と非常に高い実施率を示し、高齢者がこのようなトレーニングを求めている事が判りました。また健康問診の結果、元気高齢者と言えども気づかない内に、8割弱の方にMCIなどの兆候がある事も判りました。

実験に参加した高齢者からも日常的に介護予防に取り組みたいというご意見を頂きました。特に運動や食生活には自信があるが、認知症の予防は自信が無い、もっと実施したいと切実な訴えもありました。

実証実験の様子はマスコミ等にも取材されテレビや新聞等で取り上げられました。



※取材撮影時の様子